

図 1 : 目的別インデックス型マニュアル

The screenshot shows a web browser window with the URL <http://www.d-wood.com/tex/texs/index.html>. The page title is "目的別インデックス" (Index by Purpose). The main heading is "LaTeX ONLINE MANUAL". Navigation links include "Home へ戻る", "入手とインストール", "まず使ってみよう!", "目的別インデックス", "参考資料", and "サイト検索". The breadcrumb trail is "Home » 目的別インデックス".

LINKS

Driftwood.jp Home

amazon.co.jp

- SHERBET street**
浅井 健一
新品 ¥5,800
ポイント 58pt
- 独習 LaTeX2ε**
吉永 徹美
新品 ¥3,360
ポイント 33pt
- VW Designs—VectorW...**
ベクターワーク...
新品 ¥2,100
ポイント 21pt
- TEXの基礎**
神代 英俊, 長島...
新品 ¥2,730
ポイント 27pt
- TED TEX—SSR-027**
Ted Tex, 浅井 健一
新品 ¥3,990
ポイント 39pt
- VMware Playerで
すぐに使える日本語...**
小島 範幸, 北浦...
新品 ¥3,990
ポイント 39pt

目的別インデックス

- [引用文](#)
(quote, quotation)
- [打ち込んだ通りに出力する](#)
(verbatim, verb)
- [箇条書き](#)
(itemize, enumerate etc.)
- [脚注](#)
(footnote)
- [参考文献](#)
(thebibliography)
- [書体](#)
(bf, rm, it etc.)
- [図の挿入 \(空白を出力\)](#)
(figure, vspace, caption, label)
- [図の挿入 \(PostScriptファイルの取り込み\)](#)
(figure, vspace, caption, label)
- [相互参照](#)
(label, ref, pageref)
- [段落見出し](#)
(paragraph, subparagraph)
- [特殊文字・アクセント](#)
(工事中)
- [左寄せ・右寄せ・センタリング](#)
(center, flushleft, flushright)
- [タイトル \(題目\)](#)
(maketitle)
- [表の挿入](#)
(table, caption, label)
- [文書の体裁指定](#)
(documentstyle)

図 2 : 文章の羅列しか書くことのできないサイト

```
\documentclass[a4paper, 10pt]{jarticle} %ドキュメントクラスの宣言
%プレアンブル
\begin{document}
%本文
\end{document}
```

上の例を見ると "\マークから始まる文字列があるのがわかります。実は "\ から始まるものが LaTeX のコマンドの特徴です。上の例では 3 つのコマンドがあるのがわかります。具体的にそのコマンドについて見てみましょう。

\documentclass

ドキュメントクラスの宣言をするためのコマンドで一番最初にドキュメントクラスの宣言するのが決まりです。他の場所で宣言することは出来ません。ドキュメントクラスの宣言では用紙の大きさ、基準となる文字の大きさ、そしてどのような文書にするかを次のように宣言します。

```
\documentclass[用紙の大きさ, 文字の大きさ]{文書の種類}
```

おそらく最初のうちは分からないので上の例のように宣言するのがいいと思います。少し補足すると用紙の大きさや文字の大きさは省略が可能です

```
\documentclass{jarticle}
```

と宣言することもできます。この場合用紙の大きさや文字の大きさは上の例と同じになります。多分省略する方が一般的かもしれません。

\begin{document} と \end{document}

`\begin{document}` と `\end{document}` は本文の始まりと終わりを宣言しています。この間に様々なコマンドを用い文書整形(組版)をしていきます。この 2 つのコマンドもドキュメントクラスの宣言同様上の例の様な場合しか使用することができません。

プレアンブル

最後にコマンドではないのですが用語としてプレアンブル(preamble)について説明します。プレアンブルではページ全体の形式について細かく宣言したり style ファイル(マクロ、即ち本来はないコマンドを拡張する場合などに使用するもの)を取り込む宣言をするスペースです。最初の内は使用することないと思いますので気にする必要はありません。

図 3-1 : 数式について特化されたサイト

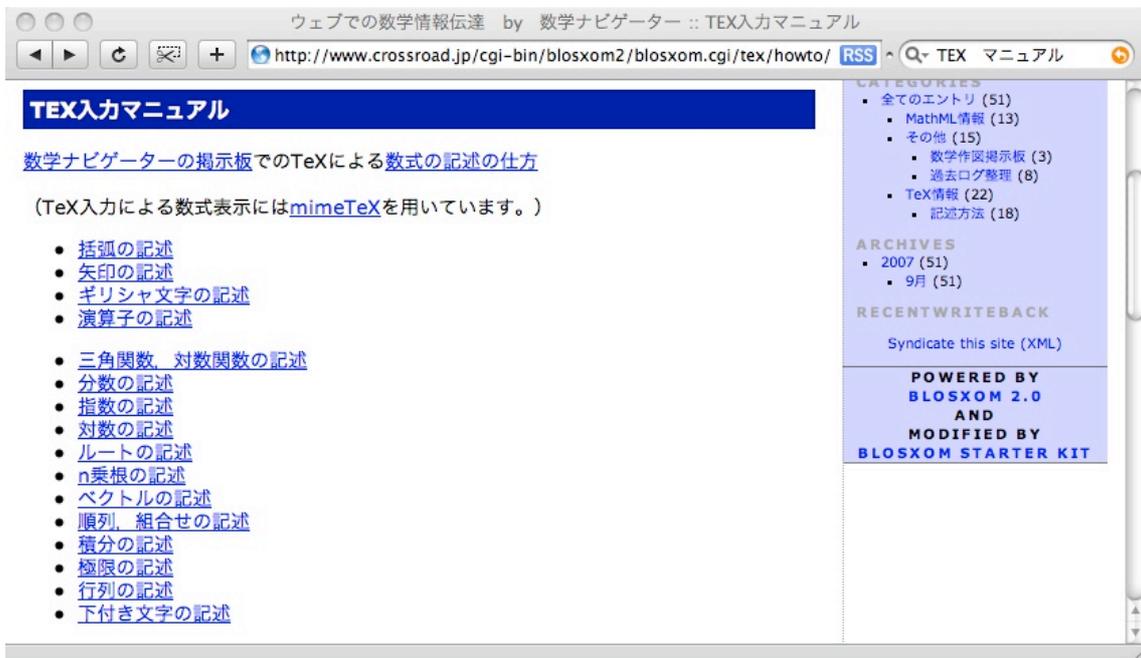


図 3-2 : 各ページには数式に関するコマンドのみ数多く記載されている

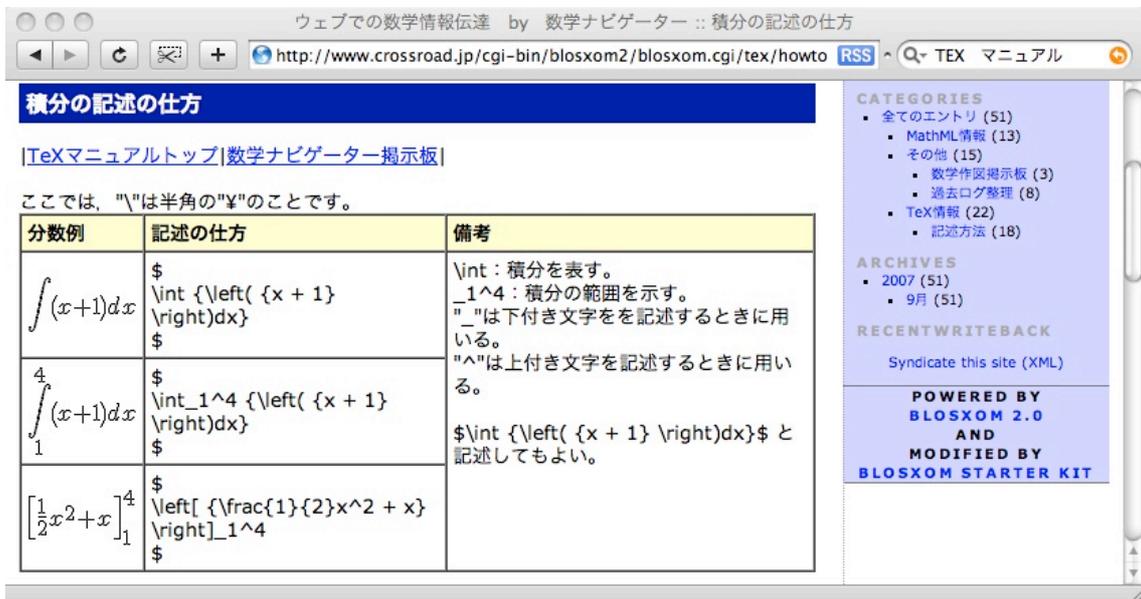


図 4-1 : 最も実用性が高いと感じたサイト

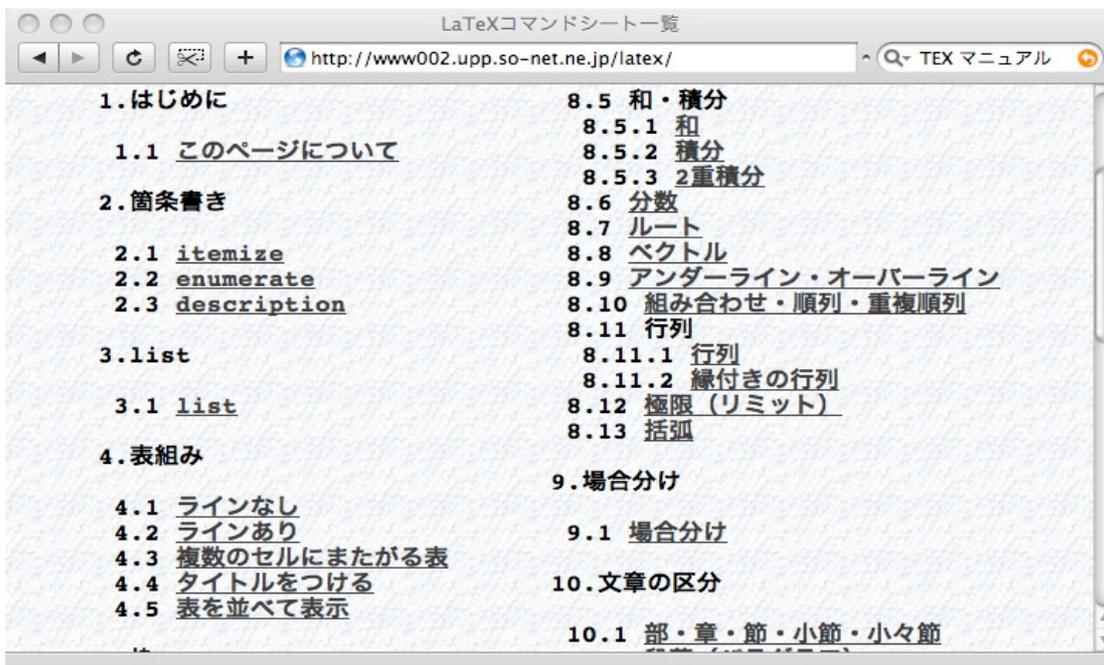


図 4-2 : 各コマンドのページ

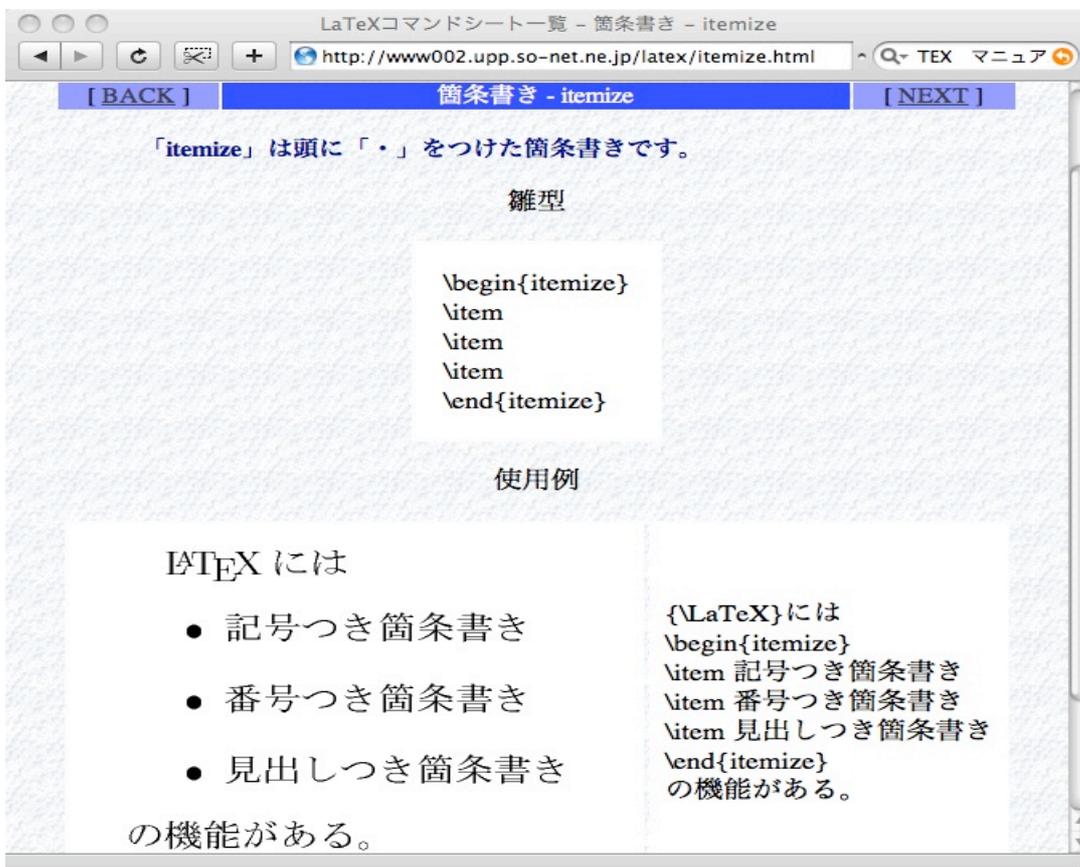


図 5 : 見出しに関するもの以外のコマンドが例文中含まれているページ

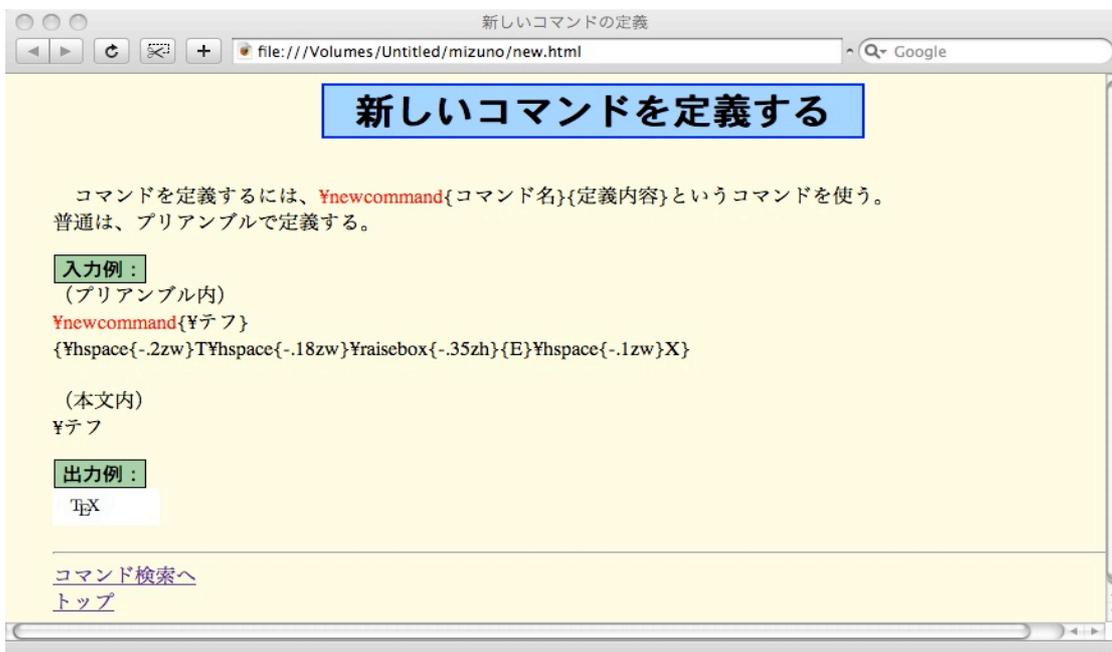


図 6 : 作成したコマンド検索画面



図 7: 完成したマニュアルのトップ画面

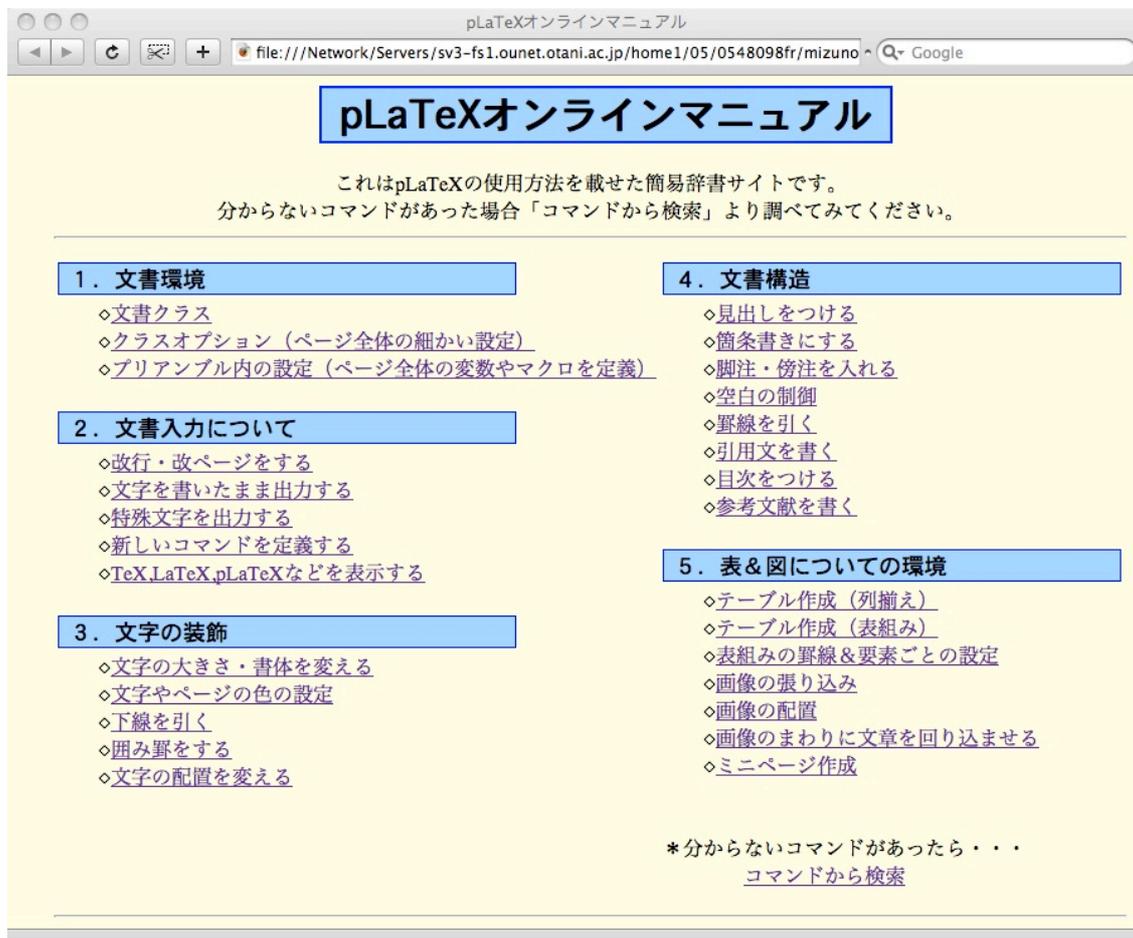


図 8 : 完成したコマンド検索画面



図 9-1 : コマンドのフォント変更 (修正前)

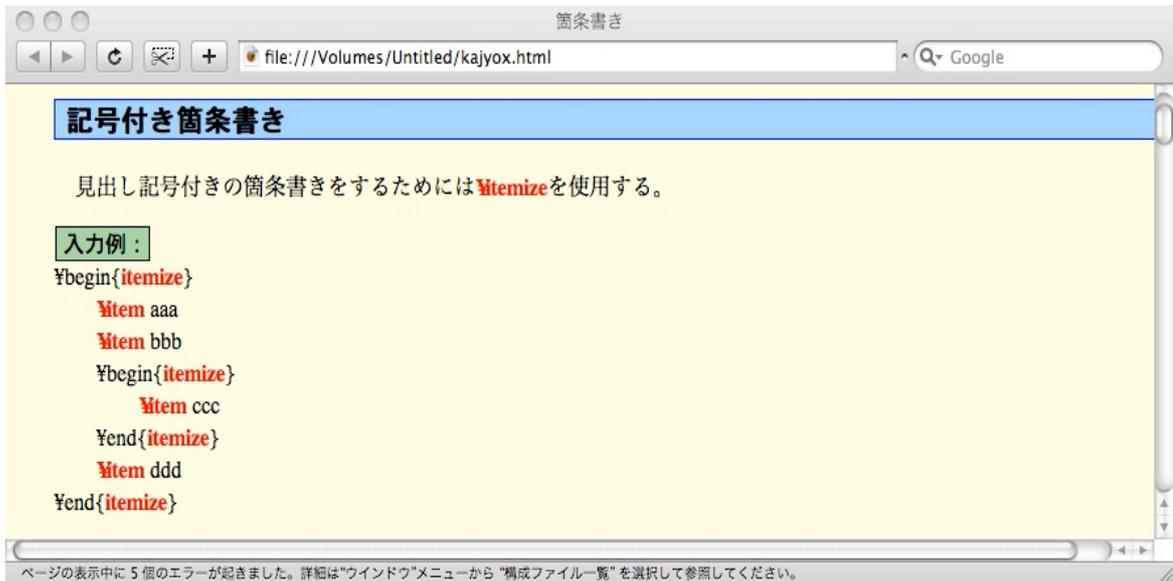


図 9-2 : コマンドのフォント変更 (修正後)

